

事業NO. 601	事業名	土地利用総合計画の改定	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	-------------	----------	-------

評価対象事業名	土地利用総合計画の改定				部課名	都市整備部都市計画課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第3・1-( )-	係名	都市計画係	内線	2815			
計画事業名					歳出科目	款	8.土木費	項	4.都市計画費	目	1.都市計画総務費
関連計画	都市計画法				会計	事項	6.土地利用総合計画改定関係費				
					補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

**目的**  
平成10年度に策定した土地利用総合計画を、第3次三鷹市基本計画の改定内容(平成16年度に改定予定)と整合性を図りながら改定し、緑と水の公園都市(公園的な空間として都市が存在するような、人にも環境にも優しい快適な環境都市)を実現するための土地利用を基本とした具体的な施策を明らかにするとともに、地区計画、市民参画型事業(ワークショップ)等の活用を定める。これに基づき、まちづくりに対する市民参加の一層の促進を図り、地域の特性に応じた、個性的で魅力あるまちづくりを推進する。

**概要**  
平成16年度は、すでに確定した「三鷹市土地利用総合計画(改定)の土地利用基本方針」を基に、関係部局と意見調整を行うとともに、第3次基本計画の改定内容等との整合を図り、まちづくり懇談会を開催し市民参加を得ながら計画の改定を行う。

始期	14	年度から	終期	16	年度まで	当該事務に従事する実職員数	6.0人	または	0.0	時間
----	----	------	----	----	------	---------------	------	-----	-----	----

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点  
庁内プロジェクトチームの活用、基本計画改定及び緑と水の基本計画策定との連携、地区計画支援担当との連携、三鷹市ホームページを活用した情報発信、(素案段階での複数案提示など市民に関心を持ってもらいやすい情報発信)

**今年度の事業・業務量の説明**  
庁内プロジェクトチームにおける検討、各住区でのまちづくり懇談会の開催、まちづくり推進委員会及び都市計画審議会での審議、三鷹市ホームページでの情報発信、意見募集・集約、広報特集号発行

**今年度のまちづくり指標の説明**  
市民との協働により計画を改定する。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	土地利用基本方針策定 土地利用現況調査	都市計画審議会、まちづくり推進委員会、住民説明会開催	庁内プロジェクトチームにおける検討、都市計画審議会、まちづくり推進委員会、まちづくり懇談会(住民説明会)、ホームページによる情報発信、意見募集・集約、広報特集号発行	庁内プロジェクトチームにおける検討、都市計画審議会、まちづくり推進委員会、まちづくり懇談会(住民説明会)、ホームページによる情報発信、意見募集・集約、広報特集号発行
まちづくり指標 行政指標 協働指標			計画の改定	計画の改定
予算額(千円)	19,000	1,658	6,688	6,688
決算額(千円)	19,000	0		4,335
執行率(%)	100.0%	0.0%		64.8%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	都計審	まち推			まち推				まち推(答申)		都計審	都計審 答申	集・確定・発行 広報特
			← 庁内プロジェクト →			← ホームページでの情報発信・意見募集・集約 →							
						← まちづくり懇談会 →							
結果	都計審	まち推			まち推				まち推(答申)		都計審 答申	都計審 答申	集・確定・発行 広報特
			← 庁内プロジェクト →			← ホームページでの情報発信・意見募集・集約 →							
						← まちづくり懇談会 →							

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
ホームページでの意見募集等を得る期間を伸ばしたり、スケジュールは遅れ気味だったが、3月には計画を確定することができた。

事業NO. 601	事業名	土地利用総合計画の改定	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	-------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向				
7月28日開催のまちづくり推進委員会において、「住区ごとのまちづくり方針」(改定素案)を諮問。委員会の意見を参考に(改定素案)の構成を再検討する必要がある。今後、まちづくり懇談会において、市民の意見を十分に聴きながら土地利用総合計画の改定を進める。				
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	総 括 説 明		
	コスト面			
	成果面			
総合評価	委託の可能性 有・無(理由)			
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
	妥当である	意 見		
	改善の余地あり			
抜本的見直し必要				
	改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価		2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	土地利用総合計画の改定作業において、関連する行政計画との調整から、スケジュールが遅れ気味であった。本計画は3月に確定したが、製本作業は、平成17年度に行うこととした。			
	成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由	第3次三鷹市基本計画の改定作業と連携しつつ、用途地域等の見直しの中で課題となった事柄等について追加・修正を行った。また、市民に見やすく分かりやすい総合計画を基本に改定作業を進め、表紙や構成について工夫をこらした。			
	効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	まちづくり懇談会での市民意見を始め、まちづくり推進委員会、都市計画審議会での意見を踏まえ、市民意見の反映に努めた。			
	総合評価及び次年度の実施方針				
	まちづくりの進展が見られると同時に、まちづくりに関する個別計画の見直しが進み、さらに第3次三鷹市基本計画の改定作業が進められる中、市政の様々な動きと整合を図り、計画内容を改定した。具体的なまちづくりをより実効性の高いものとする基本計画の改定を行うことができた。				
	進捗状況評価		2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由				
成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし		
理由					
効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由					
総合評価		第3次三鷹市基本計画と整合性の図られた土地利用総合計画ができあがったことにより、今後のまちづくり事業が包括的に進むことが期待される。			

事業NO. 602	事業名	都市計画道路3・4・13号線整備事業(牟礼2期)	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	--------------------------	----------	-------

評価対象事業名	都市計画道路3・4・13号線整備事業(牟礼2期)				部課名	都市整備部都市計画課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第1・2-(2)-	係名	都市計画係	内線	2815				
計画事業名	3・4・13号線(牟礼地区)整備の推進				歳出科目	款	8.土木費	項	4.都市計画費	目	2.街路事業費	
関連計画	都市計画法				会計	事項	2.三鷹都市計画道路3・4・13号線(牟礼)整備事業費					
事業の目的・概要	<p>目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入</p> <p>三鷹都市計画道路3・4・13号線(牟礼2期:人見街道～運雀通り間)を、南北の基幹道路として幅員16m延長466mの規模で整備することにより、周辺道路の渋滞緩和及び利便性の向上、生活道路への自動車流入の抑制、災害時の啓開道路の整備を図る。</p> <p>人見街道～運雀通り間の466mについて、片側1車線、幅員16mの都市計画道路を整備する。平成16年度は用地買収349㎡(公社買戻し)を行う。          なお、東八道路～人見街道までの区間(牟礼 期)は、平成12年度に整備が完了している。</p>											
始期	14	年度から	終期	24	年度まで	当該事務に従事する実職員数	2.0人		または	0.0時間		
<p>15年度事業評価の結果:指摘等を踏まえ、本年度の改善点</p> <p>国庫補助金の全般的な削減傾向の中で、補助金の獲得が大きな課題となっている。</p>												
<p>今年度の事業・業務量の説明</p> <p>今年度は、土地開発公社で買収した土地の買い戻し349㎡を予定している。          (平成15年度末で621.09㎡の用地買収(市)済み。)</p>												
<p>今年度のまちづくり指標の説明</p> <p>用地取得率13.4%(平成16年度末) 全体用地買収面積7,223.22㎡ 今年度買収面積349㎡。          三鷹市の都市計画道路整備率38.3%(平成15年度末)</p>												
<p>他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)</p> <p>他市の都市計画道路整備率(平成15年度末)          武蔵野市57.2% 府中市76.4% 調布市42.1% 小金井市33.0%</p>												
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標		H16年度達成							
事業・業務量	事業認可取得 用地買収 349.09㎡ 公社 取得315.34 ㎡	用地買収272 ㎡公社買戻し	用地買収349㎡	用地買収349㎡	用地買収349㎡							
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	用地取得率4.8%(公社分含まず、以下同じ)	用地取得率8.6%	用地取得率13.4%	用地取得率13.4%	用地取得率13.4%							
予算額(千円)	111,960	83,730	267,011		267,011							
決算額(千円)	109,796	79,773			264,239							
執行率(%)	98.1%	95.3%			99.0%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画						用地買収						
結果						用地買収						
<p>事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等</p> <p>当初計画どおりに進められた。</p>												

事業NO. 602	事業名	都市計画道路3・4・13号線整備事業(牟礼2期)	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	--------------------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		
今年度の事業は順調に進捗している。今年度から、物件補償費についても補助対象とすることができたため、公社買収としていたものを市の直接買収に変更し、補助金を有効活用した。次年度以降も市の直接買収を基本として事業を進める。なお、補助見合いで事業を執行することを原則とし、今後も補助金の獲得に努める。		
中 間 評 価	主管課中間評価	
	項目	総括説明
	コスト面	増加
	成果面	拡大
	総合評価	第3水準
(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて]) 補助金の獲得範囲内で事業を実施して行く。市が直接買収することで物件補償費を補助対象とすることができるため、この手法を基本に買収を行う。		
委託の可能性 (有)無(理由)		
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要	意見 物件補償も補助対象となる、市の直接買収といった手法を活用することは意義があるが、地権者との調整を慎重に行う必要がある。
改善提案に対する政策会議の意見・評価		
評価を踏まえ予算化に努める。 補助見合いで堅実に事業を進める必要がある。		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価		1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	当初予定通りの買収を進めることができた。			
	成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由	移転補償物件を補助対象として、市の直接買収により、用地買収を進めた。			
	効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	買収に応じる意向の地権者が多い。道路開通により初めて事業効果が表れることから、早期の買収が望まれる。			
	総合評価及び次年度の実施方針				
	土地開発公社が行う先行買収と合わせて、市が直接買収することで、物件補償についても補助対象とすることができるので、この手法を基本に事業の進捗を図る。				
	進捗状況評価		1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由				
成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし		
理由					
効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由					
総合評価 今後も、所管課の方針である物件補償を補助対象にできる市の直接買収を基本に、補助見合いでの事業執行に努めることが大切である。					

事業NO. 603	事業名	「三鷹駅前地区再開発基本計画」の改定と推進 (重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	--------------------------------	-------

評価対象 事業名	「三鷹駅前地区再開発基本計画」の改定と推進			部課名	都市整備部まちづくり建築課							
基本計画掲載	あり	なし	体系	第2部第6・1-(1)-	係名	再開発		内線		2861		
計画事業名	「三鷹駅前地区再開発基本計画」の改定と推進			歳出科目	款	1.再開発費	項	1.再開発費	目	2.再開発事業費		
関連計画	三鷹市中心市街地活性化計画			再開発会計	事項	5三鷹駅前地区再開発基本計画改定事業						
補助区分				国	都		市単独					
事業の目的・概要	目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入											
目的	平成8年3月に策定した三鷹駅前地区再開発基本計画を三鷹駅を取り巻く環境、社会・経済情勢の大きな変化や事業の見直し等に対応するため、改定する。平成13年度に策定した三鷹市基本構想及び平成16年度に改定される第3次基本計画、中心市街地活性化基本計画との整合をとりながら、バリアフリーのまちづくりを推進し、安全で快適な都市空間の創出と地域の活性化を図ることを目的として改定する。											
概要	市民参加による懇談会及び意見を聞く会等を開催し、その意見を反映しながら年内に基本方針を確定し、16年度末に当該計画を確定する。											
始期	14	年度から	終期	16	年度まで	当該事務に従事する実職員数	2.0人		または	時間		
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点	計画(改定)の確定にあたっては、市民の意見を聞くとともに、関係各部課と調整を図りながら進めることとする。											
今年度の事業・業務量の説明	まちづくり連絡会の開催、商店会・商工会との懇談会の開催、三鷹駅前地区の市民をはじめとした多くの市民等を対象とした意見を聞く会の開催											
今年度のまちづくり指標の説明	市民参加を図ったうえで、計画を改定する。											
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)												
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成								
事業・業務量	推進会議1回開催及び幹事会2回開催、調査研究	まちづくり連絡会開催、商工会・商店会等との懇談会開催、市民より意見を聞く会開催。	まちづくり連絡会開催、商工会・商店会等との懇談会開催、市民より意見を聞く会開催。ホームページ掲載	素案の確定								
まちづくり指標 行政指標 協働指標	三鷹駅前地区再開発基本計画(改定)の基本方針(案)の作成	基本方針の確定	計画の改定	素案の確定								
予算額(千円)			3,090	3,090								
決算額(千円)				1,785								
執行率(%)				57.8%								
年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				改定作業								確定
結果				改定作業								素案確定
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等	当初計画では平成17年3月としていたが、基本計画や土地利用総合計画等の上位計画との整合を図るため、平成17年9月を改定の目標に延期した。											

事業NO. 603	事業名	「三鷹駅前地区再開発基本計画」の改定と推進 (重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	--------------------------------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向			
現在再開発区域内の道路整備方針は確定したものが無い。再開発基本計画の改定に連動して整備方針を確定し、民間開発の指導に活かしたい。			
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	維持	改定した計画の推進
	コスト面	拡大	
	成果面	B	委託の可能性 無(理由)
総合評価	第2水準		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### シート3 (事業の中間評価・事後評価)

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		当初計画では平成17年3月としていたが、基本計画や土地利用総合計画等の上位計画との整合を図るため、平成17年9月を改定の目標に延期した。
	成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		基本計画や土地利用総合計画等の上位計画との整合を図るため、平成17年9月を改定の目標に延期した。平成16年度は素案が確定した。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		上位計画の確定を待ったので、効率的に整合が図られることとなった。
	総合評価及び次年度の実施方針		基本計画や土地利用総合計画等の上位計画との整合を図るため、平成17年9月を改定の目標に延期した。今後は市民参加を経て、9月の確定を目指す。
	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
理由			
成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
理由			
効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価			第3次三鷹市基本計画・土地利用総合計画との整合性を図るとともに市民の意見の反映された計画になることが望まれる。

事業NO. 604	事業名	第12地区協同ビル建設事業の支援	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	------------------	----------	-------

評価対象事業名	第12地区協同ビル建設事業の支援				部課名	都市整備部まちづくり建築課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第2部第6・2-(8)-	係名	再開発	内線	2861				
計画事業名	第12ブロック協同ビル建設事業の支援				歳出科目	款	1.再開発費	項	1.再開発費	目	2.再開発事業費	
関連計画	三鷹駅前地区再開発基本計画				再開発会計	事項	4三鷹駅南口地区市街地再開発助成事業					
事業の目的・概要	目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入											
目的	第12地区協同ビル建設予定地区は、老朽化した低層木造家屋や駐車場など、防災性が確保されておらず、土地の高度利用も図られていない。このため、土地の高度利用と防災性の向上を図るとともに、計画的な商業・業務環境と住環境の集積を行うよう誘導・支援する。また、駅前広場の地権者、借家人の代替受皿としての活用を図るとともに、駅前広場との一体的な整備を行う。さらに、駅市政窓口の移転や「三鷹ネットワーク大学(仮称)」などを設置することにより、市民サービスの向上につなげる。											
概要	都市再生機構が事業主体となり、市を含む関係地権者において、等価交換方式による協同ビル化を図る。市は、地権者として参画するとともに、優良建築物等整備事業に採択し支援を行っていく。当該ビルは商業・業務施設と住宅で構成され、地下には駐輪場・駐車場を配置するよう誘導する。平成17年5月の完成、7月の施設オープンする予定である。											
始期	8	年度から	終期	17	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5人			または	時間	
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点												
建築工事が予定より遅れたものの、平成17年5月の完成、同7月の施設オープンの予定は変わらない。業務床の「三鷹ネットワーク大学(仮称)」の活用及び駅市政窓口の移転について、関係部署と共に仕様、運営方法等の検討を行う。												
平成17年5月の竣工を目指し、保留床の取得、売却等を行う。なお、取得に際しては、予算の補正が必要となる。公益施設については、仕様及び運営方法について検討し、都市再生機構と施設譲渡契約を締結する。駅前広場整備の地権者及び借家人に対し代替床として活用するため、入居先の仕様・条件等の整理を行う。												
今年度のまちづくり指標の説明												
都市再生機構との保留床に関する売買契約を締結し、建設工事が進捗するよう支援していく。												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)												
年度別明細												
	H14年度	H15年度	H16年度目標		H16年度達成							
事業・業務量	駅前広場の受け皿である地権者と調整。覚書の締結	駅前広場の受け皿である地権者・借家人と調整。公益施設の仕様運営方法の検討。工事着工	保留床の取得、売却等の実施、公益施設の設置に係る施設譲渡契約の締結、駅前広場整備の代替床として活用するための仕様・条件等の整理		保留床の取得 契約の締結 駅前広場整備の代替床として活用するための仕様・条件等の整理							
まちづくり指標	覚書の締結	等価交換契約	保留床の取得、売却等の実施、建設工事の進捗を図るための支援		保留床の取得 建設工事の進捗を図るための支援							
予算額(千円)	0	0	0		0							
決算額(千円)	0	0	0		0							
執行率(%)												
年間の実施スケジュール												
当初計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				建設工事								
								等価交換契約				
									保留床取得に関する予算の補正			
				建設工事								
								等価交換契約				
									保留床取得に関する予算の補正			
									保留床取得契約の締結			
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等												
当初計画どおりに進行することができた。												

事業NO. 604	事業名	第12地区協同ビル建設事業の支援	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	------------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向			
各店舗等の所管部署が決定したことから、駅前広場事業協力者に代替店舗として売却するための保留床の取得に係る債務負担行為の設定を12月補正予算で計上する。			
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	減少	平成16年度に取得契約した保留床を、駅前広場事業協力者に売却し、協同ビルのオープンに備える。
	コスト面	拡大	
	成果面	A	
総合評価	第1水準		委託の可能性 無(理由)協同ビル化に対する支援事業という性格から、委託になじまない。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
		理由	売却契約が平成17年度にずれ込んだ以外は当初計画のとおり進捗している。6月1日引渡し予定。	
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
		理由	平成17年第1回議会において、保留床取得議案の議決がおこなわれた。	
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
		理由	商業・業務床を確保することにより、商業等の活性化を図ることが可能となった。	
	総合評価及び次年度の実施方針			
	市が取得する商業・業務床のうち、テナントが未定の部分がある。6月1日に引き渡し予定。			
	審 査 会 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
			理由	
成果に対する評価		2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
		理由		
効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
	理由			
総合評価	保留床の引き渡し及び売却までのスケジュール管理、事務手続きに十分留意することが望まれる。			

事業NO. 605	事業名	バリアフリーの道路整備の推進(バリアフリー化改善事業) (重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	--------------------------------------	-------

評価対象事業名	バリアフリーの道路整備の推進(バリアフリー化改善事業)			部課名	都市整備部 道路交通課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第1・4-(1)-	係名	設計係	内線	2845
計画事業名	第3部第1・4-(1)- バリアフリーの道路整備の推進			歳出科目	款	8土木費	項	2道路橋梁費
関連計画	三鷹市バリアフリーのまちづくり基本構想・交通バリアフリー法			会計	事項	5.バリアフリー化改善事業費		
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象にと)意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 平成15年度に策定された「三鷹市バリアフリーのまちづくり基本構想」に基づき、バリアフリーの事業計画に沿った重点整備地区の特定路線を優先的に整備を行うとともに、道路の老朽化による整備路線についても、バリアフリーに配慮した改善を行い快適な歩行空間の整備を行う。

概要 重点整備地区であるJR三鷹駅周辺地区及び京王井の頭線の三鷹台駅・井の頭公園駅周辺地区の歩道の段差・勾配の改善、視覚障がい者誘導ブロックの是正、標識・道路照明・電柱等を移設し、バリアフリー化を図る道路整備を行う。

始期 16 年度から 終期 22 年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.0 人 または 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点  
本年度の改善点としては、快適な歩行空間を整備するために、バリアフリーを考慮した構造や歩行者のニーズに合った質の高い歩行空間の形成を図り、事業計画を踏まえ計画的に整備を行う。

今年度の事業・業務量の説明  
JR三鷹駅周辺地区のバリアフリー化整備(経路整備延長)250m(むらさき橋通りの整備)  
京王井の頭線踏切のバリアフリー化整備(三鷹台駅二号踏切)1箇所

今年度のまちづくり指標の説明  
JR三鷹駅周辺地区のバリアフリー化整備率が(経路整備総延長7.5Km)21%達成する。  
京王井の頭線踏切のバリアフリー化整備1箇所を行う。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量		JR三鷹駅周辺地区(経路整備)をバリアフリー化緊急改善の整備を実施	JR三鷹駅周辺地区バリアフリー化整備(むらさき橋通りの整備)(経路整備延長)250m 京王井の頭線踏切バリアフリー化改善(三鷹台駅二号踏切)1箇所	JR三鷹駅周辺地区バリアフリー化整備(むらさき橋通りの整備)(経路整備延長)309m 京王井の頭線踏切バリアフリー化改善(三鷹台駅二号踏切)1箇所
まちづくり指標 行政指標 協働指標		バリアフリー化整備を実施、高齢者・障害者等の満足度を得られた。	JR三鷹駅周辺地区のバリアフリー化整備率は経路整備総延長7.5Kmに対して21%達成、京王井の頭線踏切のバリアフリー化整備1箇所	JR三鷹駅周辺地区のバリアフリー化整備率は経路整備総延長7.5Kmに対して21%達成、京王井の頭線踏切のバリアフリー化整備1箇所
予算額(千円)		40,000	40,000	40,000
決算額(千円)		35,521		36,435
執行率(%)		88.8%		91.1%

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画							契約	着手	[バリアフリー化その1]	竣工		
								契約	着手	[バリアフリー化その2]		竣工
結果									契約 着手	[バリアフリー化その1]		竣工
									契約 着手	[バリアフリー化その2]		竣工

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
当該事業の早期完成を目指し、関係機関との工程調整を行った。

事業NO. 605	事業名	バリアフリーの道路整備の推進(バリアフリー化改善事業)	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	-----------------------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向			
平成15年度に、視覚障がい者誘導用ブロックを連続化し歩行性を考慮してバリアフリーへの整備を行った。整備の効果及び手法について、視覚障がい者の方々には高い評価を得たが、歩道の利用者の中で「視覚障がい者誘導用ブロック」点状・線状突起が歩行時に支障となるなど、ブロックの役割が認知されず、バリアフリー整備事業の取り組みの中で、歩道の利用者に対し理解を得ることが今後の課題となっている。			
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	維持	「東京都福祉のまちづくり支援事業補助」が平成15年度で終了した。今後は、バリアフリー化事業を推進する上で、新たな補助制度の確保を検討し、バリアフリー化改善事業の財源調整を図るように努める。
	コスト面	拡大	
	成果面	B	
総合評価	第2水準	委託の可能性 (有)無(理由)	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		事業効果に関するPRに努めることが望ましい。
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価		重点的に取り組む課題とする。 植栽の変更のあり方などについて、さらに検討すること。また、堀合地下道の手すりについては、材質等に留意すること。	

### 《事業の中間評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価		1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	バリアフリー化改善事業を実施する際に、関係機関との調整を図った結果、工期が制限されたもののほとんどスケジュールに変更を生じることなく、事業が効率的に進められた。			
	成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	
	理由	バリアフリー化の重点整備地区を優先的に整備を行ったことにより、道路環境の向上と当初の目標値を達成することができた。			
	効率性・経済性に対する評価		2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	バリアフリー化への改善を行うことについては、今後は、経済性等工法に考慮して整備の向上を図る。			
	総合評価及び次年度の実施方針		バリアフリー化整備後の改善については、高齢者、障がい者の方々への評価は高く、また、今後も歩行空間を改善にする際に、多くのの方々のニーズに配慮して整備を行う。		
	進捗状況評価		1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由				
	成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	
理由					
効率性・経済性に対する評価		2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由					
総合評価	バリアフリーの基本構想及び平成17年度に策定予定である「バリアフリーのまちづくり事業計画」に基づき、一層の計画的・重点的な事業の推進を図るとともに、当該事業の効果の確認・検証等を行う方策を検討する必要がある。				

事業NO. 606	事業名	自転車等駐車場整備事業	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	-------------	----------	-------

評価対象事業名	自転車等駐車場整備事業			部課名	都市整備部道路交通課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第5・3-(5)-	係名	都市交通係	内線	2883
計画事業名	自転車交通環境の整備			歳出科目	款	2.総務費	項	1.総務管理費
関連計画				会計	事項	7.放置自転車等対策関係費		
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 三鷹駅南口周辺には現在約7,000台の駐輪場があるが、歩道上の放置自転車が後を絶たず、駐輪台数の絶対数が不足している状況である。ついては、既存駐輪場のうち、借地駐輪場を公有地化することで将来にわたり駐輪場の安定供給を図るとともに、市有地の駐輪場については、平置き式駐輪場を機械式立体式駐輪場に整備することで、全体の駐輪場の収容可能台数の適正化を図り、放置自転車台数を減らし、安全の確保を優先しながら歩行者等が円滑に機能する環境を整備する。

概要 すぐかけ駐輪場の隣接地の国有地を本年度土地開発公社で先行取得する。  
(翌年度、補助金を活用しながら買い戻しを行い、機械式立体駐輪場を設置する。)  
取得用地面積 217.60 m<sup>2</sup> 駐輪予定台数 1,240台

始期 16 年度から 終期 17 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0 人 または 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点  
現在の駐輪場の用地は借地が約55%程度であり、将来にわたり駐輪場を安定的に運用するためには借地を公有地化する必要がある。なお、来年度以降は市有地の駐輪場を有効利用するために機械式立体駐輪場を順次設置する。

今年度の事業・業務量の説明  
土地開発公社による用地先行取得217.60m<sup>2</sup>(関東財務局より取得)及び暫定駐輪場整備  
平成17年度の国庫補助金(交通安全施設等整備補助金「あんしん歩行エリア」)取得のための書類作成等

今年度のまちづくり指標の説明  
暫定的な駐輪場の整備等を実施する。  
(翌年度に恒久的な駐輪場用地を確保した上で機械式立体駐輪場(駐輪予定台数1,240台)を整備する。)

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量			土地開発公社による用地先行取得217.60m <sup>2</sup> (関東財務局より取得)及び暫定駐輪場整備 国庫補助金取得のための書類作成等	平成17年2月18日土地開発公社による用地217.6m <sup>2</sup> (関東財務局より取得) 国庫補助金取得のため書類作成
まちづくり指標 行政指標 協働指標			暫定的な駐輪場の整備等の実施(翌年度に機械式立体駐輪場を整備)	機械式立体化工事の設計委託業務の完了
予算額(千円)			1,500	11,670
決算額(千円)				11,655
執行率(%)				99.9%

年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画							土地開発公社にて取得			暫定駐輪場として仮開場		
結果							補助金申請に関する事務				土地開発公社にて取得	
								補正予算議会提出			委託設計業務	
							補助金申請に関する事務					

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
平成17年度における駐輪場の整備工事において、登録駐輪場の代替の駐輪場の確保が難しく、既存登録駐輪場(400台)を生かしたままで施行することから、工期が長くかかるため早期着工が必要となった。また、補助金の申請時期を考慮し、平成16年度中に設計を行うことが必要となった。

事業NO. 606	事業名	自転車等駐車場整備事業	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	-------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

<b>中間評価時の課題と次年度の改善方向</b>													
<p>すずかけ駐輪場用地を拡張し機械式立体駐輪場を整備するにあたり、平成17年度は契約の締結に係る議会の議決や都の補助審査を行う必要があり、当初計画どおり平成17年度に設計を行うのでは工期が不足する。そこで、当初計画を変更し、平成17年度に行う予定であった設計業務を前倒し、平成16年度に行う(12月補正で対応予定)スケジュールに変更する。また、設計は機械設備の専門知識を必要とするため、外部委託とする。</p>													
中間評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">主管課中間評価</th> <td rowspan="4">           (次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])            すずかけ駐輪場隣接地の国有地を買収し、機械式立体駐輪場を整備できることにより市有地の有効活用を図ることができる。また、代替駐輪場の確保が困難な状況から平成16年度中に設計業務を完了することにより、工期を二期に分散し全体の登録駐輪台数を減らすことなく工事を施工することが可能となる。         </td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>総括説明</td> </tr> <tr> <td>コスト面</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果面</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>第3水準</td> <td>委託の可能性 (有) 無 (理由)</td> </tr> </table>	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) すずかけ駐輪場隣接地の国有地を買収し、機械式立体駐輪場を整備できることにより市有地の有効活用を図ることができる。また、代替駐輪場の確保が困難な状況から平成16年度中に設計業務を完了することにより、工期を二期に分散し全体の登録駐輪台数を減らすことなく工事を施工することが可能となる。	項目	総括説明	コスト面	増加	成果面	拡大	総合評価	第3水準	委託の可能性 (有) 無 (理由)
	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) すずかけ駐輪場隣接地の国有地を買収し、機械式立体駐輪場を整備できることにより市有地の有効活用を図ることができる。また、代替駐輪場の確保が困難な状況から平成16年度中に設計業務を完了することにより、工期を二期に分散し全体の登録駐輪台数を減らすことなく工事を施工することが可能となる。										
	項目	総括説明											
	コスト面	増加											
成果面	拡大												
総合評価	第3水準	委託の可能性 (有) 無 (理由)											
<b>改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価</b>													
<table border="1"> <tr> <td>妥当である</td> <td rowspan="3">意見</td> <td rowspan="3">補正予算での対応は、自転車駐輪場有料化に向けたファーストステップとなることから、駐輪場整備方針、収支見通し、管理運営形態等を明確にしていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>改善の余地あり</td> </tr> <tr> <td>抜本的見直し必要</td> </tr> </table>		妥当である	意見	補正予算での対応は、自転車駐輪場有料化に向けたファーストステップとなることから、駐輪場整備方針、収支見通し、管理運営形態等を明確にしていく必要がある。	改善の余地あり	抜本的見直し必要							
妥当である	意見	補正予算での対応は、自転車駐輪場有料化に向けたファーストステップとなることから、駐輪場整備方針、収支見通し、管理運営形態等を明確にしていく必要がある。											
改善の余地あり													
抜本的見直し必要													
<b>改善提案に対する政策会議の意見・評価</b>													
<p>すずかけ駐輪場については重点的に取り組む課題とする。          また、運営手法、収支見通し等を明確にする必要がある。今後の用地の確保等については、JRIに協力要請していくこととする。さらに民間活力の活用についても、十分検討を行うこととする。</p>													

### 《事業の事後評価》

事後評価	<table border="1"> <tr> <td>進捗状況評価</td> <td>1</td> <td>当初計画どおり&lt;計画以上の進捗を含む&gt; 若干遅れている 大きく遅れている</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2">すずかけ駐輪場の機械式立体化の機種選定委員会を発足させ、地下方式の機種を決定した。その後、設計業務の委託を行い住民説明会を開催し近隣住民の意見を聞き、設計業務を完了した。</td> </tr> <tr> <td>成果に対する評価</td> <td>1</td> <td>大&lt;目標の指標等を達成&gt; 中・小又はなし</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2">すずかけ駐輪場の機械式立体化の設計において、土地を有効利用し貴重な市有地駐輪場の駐輪台数を機械式立体化することにより、約3倍の駐輪台数を確保した。</td> </tr> <tr> <td>効率性・経済性に対する評価</td> <td>1</td> <td>高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2">すずかけ駐輪場の設計を行ううえでより土地の有効利用を図り、地域住民への影響を最小限にするため地下方式を採用し、駐輪台数も既存駐輪場の580台から1700台と約3倍を確保することとなる。</td> </tr> <tr> <td>総合評価及び次年度の実施方針</td> <td colspan="2">当初計画の駐輪台数は1240台を予定していたが、更に公有地の有効利用を図るため、機械式立体駐輪場の設計を行い、駐輪台数が既存駐輪台数の約3倍となる1700台となった。平成17年度は東京都の設計審査を受けた後、議会の承認を得て、7月に工事を着工し、平成18年3月に完成する予定である。</td> </tr> </table>	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	理由	すずかけ駐輪場の機械式立体化の機種選定委員会を発足させ、地下方式の機種を決定した。その後、設計業務の委託を行い住民説明会を開催し近隣住民の意見を聞き、設計業務を完了した。		成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	理由	すずかけ駐輪場の機械式立体化の設計において、土地を有効利用し貴重な市有地駐輪場の駐輪台数を機械式立体化することにより、約3倍の駐輪台数を確保した。		効率性・経済性に対する評価	1	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	理由	すずかけ駐輪場の設計を行ううえでより土地の有効利用を図り、地域住民への影響を最小限にするため地下方式を採用し、駐輪台数も既存駐輪場の580台から1700台と約3倍を確保することとなる。		総合評価及び次年度の実施方針	当初計画の駐輪台数は1240台を予定していたが、更に公有地の有効利用を図るため、機械式立体駐輪場の設計を行い、駐輪台数が既存駐輪台数の約3倍となる1700台となった。平成17年度は東京都の設計審査を受けた後、議会の承認を得て、7月に工事を着工し、平成18年3月に完成する予定である。	
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている																			
	理由	すずかけ駐輪場の機械式立体化の機種選定委員会を発足させ、地下方式の機種を決定した。その後、設計業務の委託を行い住民説明会を開催し近隣住民の意見を聞き、設計業務を完了した。																				
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし																			
	理由	すずかけ駐輪場の機械式立体化の設計において、土地を有効利用し貴重な市有地駐輪場の駐輪台数を機械式立体化することにより、約3倍の駐輪台数を確保した。																				
	効率性・経済性に対する評価	1	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること																			
理由	すずかけ駐輪場の設計を行ううえでより土地の有効利用を図り、地域住民への影響を最小限にするため地下方式を採用し、駐輪台数も既存駐輪場の580台から1700台と約3倍を確保することとなる。																					
総合評価及び次年度の実施方針	当初計画の駐輪台数は1240台を予定していたが、更に公有地の有効利用を図るため、機械式立体駐輪場の設計を行い、駐輪台数が既存駐輪台数の約3倍となる1700台となった。平成17年度は東京都の設計審査を受けた後、議会の承認を得て、7月に工事を着工し、平成18年3月に完成する予定である。																					
審査会評価	<table border="1"> <tr> <td>進捗状況評価</td> <td>1</td> <td>当初計画どおり&lt;計画以上の進捗を含む&gt; 若干遅れている 大きく遅れている</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>成果に対する評価</td> <td>1</td> <td>大&lt;目標の指標等を達成&gt; 中・小又はなし</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>効率性・経済性に対する評価</td> <td>1</td> <td>高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td colspan="2">限られた貴重な駅前地区に既存駐車場の3倍、当初計画を3割以上上回る駐輪台数を確保できたことは評価される。</td> </tr> </table>	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	理由			成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	理由			効率性・経済性に対する評価	1	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	理由			総合評価	限られた貴重な駅前地区に既存駐車場の3倍、当初計画を3割以上上回る駐輪台数を確保できたことは評価される。	
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている																			
	理由																					
成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし																				
理由																						
効率性・経済性に対する評価	1	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること																				
理由																						
総合評価	限られた貴重な駅前地区に既存駐車場の3倍、当初計画を3割以上上回る駐輪台数を確保できたことは評価される。																					

事業NO. 607	事業名	「緑と水の基本計画」の策定	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	---------------	----------	-------

評価対象 事業名	「緑と水の基本計画」の策定				部課名	都市整備部緑と公園課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第2・1-(1)-	係名	緑と水係	内線	2833				
計画事業名	「緑と水の基本計画」の策定と推進				歳出科目	款 8.土木費	項 4.都市計画費	目 4.緑化公園費				
関連計画					会計	事項 9. 緑と水の基本計画策定関係費						
事業の目的・概要	<p><b>目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入</b></p> <p>緑と水に関するまちづくりのマスタープランを策定し、これに基づき緑と水の保全や緑化の推進に関する諸施策を総合的かつ計画的に展開することにより、市内に残る農地・樹林地等の緑や地下水・湧水、地域文化財を守るとともに、身近な緑を創出し、緑豊かな高環境のまちづくりを進め、市民に対し快適でうるおいのある良好な生活環境を提供する。</p> <p>概要 緑と水のまちづくりにおける目標とその実現のための施策の展開・緑と水の都市基盤(公園・緑化・河川等の水辺など)の整備計画を内容とする緑と水のマスタープランを策定する。平成14年度に市民検討会議より提案がなされた計画の基本的事項や方向性、行動計画を取りまとめた最終報告書を基に、関係部局や各委員会と意見調整を行うとともに、第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定内容との整合を図り、合同でまちづくり懇談会を開催し市民参加を得ながら計画の取りまとめを行う。</p> <p>始期 平成13年度から 終期 平成16年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0人 または 時間</p> <p>15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点 第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定スケジュールと整合を図り、合同でまちづくり懇談会を開催するなどしながら計画の策定を行うこととする。</p> <p>今年度の事業・業務量の説明 まちづくり懇談会・推進会議を開催し、市民参加及び関係部局との連携を図りながら計画を策定する。</p> <p>今年度のまちづくり指標の説明 緑と水の基本計画を策定し、事業を達成する。</p> <p>他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)</p>											
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標		H16年度達成							
事業・業務量	市民懇談会 1回 検討会議3回	推進会議1回	推進会議 4回 まちづくり懇談会 1回	推進会議 2回 まちづくり懇談会 8回								
まちづくり指標 行政指標 協働指標	計画の検討	計画の検討	計画の策定	計画(案)の策定								
予算額(千円)	3,005	1,671	893		893							
決算額(千円)	1,650	479			746							
執行率(%)	54.9%	28.7%			83.5%							
年間の実施スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			推進会議 建設委員会		推進会議 環境保全審議会 原案作成	建設委員会		推進会議 環境保全審議会	建設委員会		推進会議 環境保全審議会	建設委員会
結果			推進会議		基本的な考え方の策定 建設委員会	まちづくり懇談会		推進会議 環境保全審議会 都市計画審議会			推進会議 環境保全審議会 都市計画審議会	計画の確定 計画案の作成 建設委員会
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等	<p>第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定作業と調整を図りつつ、合同でまちづくり懇談会を開催するなどしながら策定作業を進めたが、こうした関連計画の改定スケジュールとの関係から、計画案の策定にとどまった。</p>											

事業NO. 607	事業名	「緑と水の基本計画」の策定	(重点管理事業)	都市整備部
-----------	-----	---------------	----------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定スケジュールや市民参加手法と整合させつつ計画の策定を進める。	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 平成16年度に確定した計画について、市民に広く周知を図るため広報特集号を発行する。	
	項目	総括説明	
	コスト面		
	成果面		
	総合評価	委託の可能性 無(理由) 策定主体が市であるため	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定と合同でまちづくり懇談会を開催するなど、関連する計画の改定作業と調整を図りつつ策定作業を進めてきたが、スケジュールに若干の遅れが生じている。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由		第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定作業と調整を図りながら作業を進めてきたが、これら関連する計画の改定スケジュールや審議会等の開催日程の関係から、計画策定の目標が計画案の作成に終わってしまった。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		第3次基本計画及び土地利用総合計画の改定との合同によるまちづくり懇談会の開催や第3次基本計画の改定にあたり実施したeコミュニティカルテの活用など、関連計画の作業と連携しつつ効率的に進めることができた。
	総合評価及び次年度の実施方針		関連する計画と整合を図りつつ、市民参加を得ながら作業を進めてきたが、当初予定していた計画の策定までには至らず、計画案の策定に終わってしまった。環境保全審議会への報告、意見を踏まえ、平成17年度には計画を策定する。
	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
理由			
効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価			速やかに基本計画を確定し着実に実行する必要がある。

事業NO. 608	事業名	東京外かく環状道路計画調査研究	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

評価対象事業名	東京外かく環状道路計画調査研究				部課名	都市整備部都市計画課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第3・-( )-	係名	都市計画係	内線	2815			
計画事業名					歳出科目	款	8.土木費	項	4.都市計画費	目	1.都市計画総務費
関連計画					会計	事項	9.東京外かく環状道路計画調査研究関係費				
					補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 国土交通省と東京都が公表した東京外かく環状道路の整備方針では、ジャンクションとインターチェンジが計画されており、当該整備による周辺地域への影響が懸念されている。については、国、都が示すデータを本市の状況に則したものと集約し、三鷹市独自の視点から調査・研究を行うことにより、三鷹のまちづくりへの影響を検証する。

概要 助言者会議において、三鷹市のまちづくりへの影響に関する総合的な検討を行うとともに、調査を実施して、三鷹のまちづくりへの影響を検証する。

始期 16年度から 終期 16年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.0人 または 0.0時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量の説明

助言者会議の開催(5回)、庁内検討チームによる検討

今年度のまちづくり指標の説明

周辺環境及び市民生活への影響に関すること等を三鷹市独自の視点から検証した調査報告書の作成

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量			助言者会議の開催(5回)、庁内検討チームによる検討	助言者会議の開催(5回)、庁内検討チームによる検討(4回)
まちづくり指標 行政指標 協働指標			調査報告書の作成	調査報告書の作成
予算額(千円)			4,000	4,000
決算額(千円)				3,465
執行率(%)				86.6%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					・助言者会議	・助言者会議	・助言者会議		・助言者会議		・助言者会議	・調査報告書の作成
結果				・助言者会議				・助言者会議	・助言者会議		・助言者会議	・報告書の作成

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等

事業NO. 608	事業名	東京外かく環状道路計画調査研究	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		7月29日に第1回の助言者会議を開催した。助言者会議での意見と庁内対策連絡会議での議論を踏まえ、調査報告書を作成する。	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	総 括 説 明	委託の可能性 有・無(理由)
	コスト面		
	成果面		
総合評価			
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価	意見	
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要		
	改善提案に対する政策会議の意見・評価		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		助言者会議については、都市計画等を専門とする大学の先生に助言者を頼み、5回の会議を開催した。
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		報告書については、国や都から示された、将来交通量や環境の現地観測データなどを三鷹市の視点から整理することができ、三鷹市として外環について検討や意思決定のための検討すべき課題について整理することができた。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		外環が三鷹市へ与える影響について、活発な議論が展開され、[助言者会議における検討から]として報告書へ反映することができた。
	総合評価及び次年度の実施方針		報告書を作成したことにより、三鷹市として外環について検討や意思決定のための基礎的データとすることができた。報告書を広く市民に公開し、情報提供を行う必要がある。また、17年度についても必要に応じて助言者からの助言を受けながら、国や都の動きに注視して行く必要がある。
審 査 会 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		
総合評価			今後につながる基礎的データを得ることができたことは意義がある。



事業NO. 609	事業名	まちづくり推進地区による重点的な面整備の促進 (野崎西まちづくり協議会等への支援)	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		<p>本協議会は平成9年3月に設立され、地区のまちづくりについて検討を重ね、平成11年6月に「野崎西まちづくり検討案」を市長に提言、平成12年11月にまちづくり推進地区指定と順調に活動を行ってきた。その後、協議会内部の都合等により、活動が停滞していた。活動再開に向けて現在対応策を検討中であるが、地域の気運を高め維持するための取組みを㈱まちづくり三鷹とともに進めていく。また、地区のまちづくりが具現化できるよう、まちづくり推進団体への認定を支援し、地区整備計画(案)の策定等を行っていく。</p>	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	総 括 説 明	現時点では、まちづくり協議会の再開について検討中であるが、再開に向けて重要となるのが、まちづくりの主体である地域住民の気運であることから、その気運がスムーズに高まるよう有効な取組みを行う必要がある。したがって、再開の取組み内容と時期について、協議会と協議・調整を行いながら、適切に進めていくことが重要となる。
	コスト面		
	成果面		
総合評価	委託の可能性 (有)無(理由) 事務局機能等のまちづくり支援業務について、㈱まちづくり三鷹へ委託可能		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		意見
	妥当である		
	改善の余地あり 抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	まちづくり協議会の再開に向けて、協議会役員との協議を行い、平成17年度に市による「まちづくり推進地区整備方針」の策定することを契機として、協議会の再開を地域に働きかけることとした。	
	成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由	長年に渡り停滞していた協議会活動の再開に向けた動きが出てきたが、協議会役員への投げかけ等がなかなかできなかったため、当初計画より進捗が遅れた。	
事 後 評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由	今後、協議会の運営については、まちづくり支援業務の一環として、まちづくり三鷹に依頼して運営をしていくこととする。	
	総合評価及び次年度の実施方針	まちづくり条例において、まちづくり推進地区に指定した場合、市民の意見を聞いて「推進地区整備方針」を策定することとなっているため、行政が主導しながらも、意見を聞くという形で、協議会活動等地域住民のまちづくりに対する気運を盛り上げていく。	
評 価 会 評 価	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		
総合評価	(株)まちづくり三鷹と一層の連携を図り、活動再開に向けた支援を講じる必要がある。		

事業NO. 610	事業名	三鷹台駅周辺地区整備計画の策定	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

評価対象事業名	三鷹台駅前周辺地区整備基本計画の策定	部課名	都市整備部都市計画課			
基本計画掲載	あり	なし	係名	地区計画支援担当	内線	2813
計画事業名	まちづくり推進地区による重点的な面整備の推進	体系	歳出科目	款 8土木費	項 4都市計画費	目 1都市計画総務費
関連計画	バリアフリーのまちづくりの推進・市道135号線の整備	会計	事項	4地区計画等まちづくり推進関係費		
		補助区分	国	都	市単独	

**事業の目的・概要** 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

三鷹市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間を創出するため、安全で快適な歩行空間の確保や商業の活性化を目的とした三鷹台駅周辺地区整備基本計画を策定する。

三鷹台周辺地域住民自らのまちづくりプランの策定に向け、三鷹台まちづくり協議会に対する活動支援を(株)まちづくり三鷹と共同し、専門家等の派遣等を通じて行っていく。市は、住民から提出されたまちづくりプランをもとに、三鷹台駅前周辺地区整備基本計画の策定を行う。

始期 8 年度から 終期 19 年度まで 当該事務に従事する実職員数 人 または 180.0 時間

**15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点**

協議会として設立され、これまでの準備会や商店会以外に新たに地域住民が加わったため、会員間の共通な認識を持つためテーマを設定し、ひとつのテーマ毎に関係者講話、現地調査、意見集約の3段階で検討を行っていく。また、緊急性のある課題については、別に分科会を設置し、その中で検討した内容について、全体会で報告し検討を行っていく。

**今年度の事業・業務量の説明**

三鷹台まちづくり協議会全体会 計10回  
事務局会議等への出席 計10回  
まちづくり三鷹との打ち合わせ 計10回

**今年度のまちづくり指標の説明**

協議会として、歩行者の安全確保等に係る市道135号線の歩道の設置については、地域や市に対して緊急提言を行っていく予定である。又、全体会でテーマ毎に検討を行う道路交通問題、環境問題及び防災問題等については、年度末に中間的な取りまとめを行っていく。

**他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)**

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	準備会開催11回、道路分科会発足、調整役登用	準備会開催7回、市民の集い開催2回、設立総会1回、協議会1回	全体会10回 事務局会議10回 まちづくり三鷹との打ち合わせ10回	全体会12回 事務局会議12回 商店会との意見交換会1回
まちづくり指標	商店会が準備会への参加を検討	協議会設立	緊急提言の作成 中間とりまとめ	135号線歩道設置に係る緊急提言書の提出
予算額(千円)	500	500	1,015	1,015
決算額(千円)	0	3		10
執行率(%)	0.0%	0.6%		1.0%

**年間の実施スケジュール**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	協議会の運営					緊急提言の検討・作成			提言	提言回答	中間とりまとめ	
結果	協議会の運営				緊急提言の検討・作成		提言		緊急提言回答	中間とりまとめ(5月)		

**事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等**

協議会から提出された歩道設置に係る緊急提言の市側の考え方については、12月末に回答。平成16年度の活動に関わる中間とりまとめ「三鷹台まちづくりプラン(第一次提言)」の最終的な取りまとめについては、5月にずれる見込みである。

事業NO. 610	事業名	三鷹台駅周辺地区整備計画の策定	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		<p>三鷹台周辺地域住民自らのまちづくりプラン策定を誘導し、このプランを基に三鷹台駅前周辺地区整備基本計画の策定を行っていく予定であるが、これに先がけて、9月末に緊急提言が市長に対して提出される。この緊急提言は、まちづくりプラン策定の過程で緊急措置として検討されているものであり、時期が早くなることで、全体計画に及ぼす影響はないものと判断できる。地元住民に対して、まちづくりプラン策定を積極的に推進することを周知する点を考慮すると、望ましい提言である。</p>	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])	
	項目	三鷹台周辺地域住民自らのまちづくりプラン策定を誘導し、このプランを基に三鷹台駅前周辺地区整備基本計画の策定を行っていく予定である。今回提出予定の緊急提言は、まちづくりプラン策定の過程で緊急措置として必要な内容として提案されるものであり、時期が早くなることで、全体計画に及ぼす影響はないものと判断できる。地元住民に対して、まちづくりプランの策定を積極的に推進することを周知する点を考慮すると、望ましい提言であると同時に、まちづくり協議会によるまちづくりが望ましい方向に進んでいると判断できる。	
	コスト面		
	成果面		
	総合評価	委託の可能性 有・無(理由) 事務局機能等まちづくり支援業務について、(株)まちづくり三鷹へ委託可能	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
	改善提案に対する政策会議の意見・評価		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		135号線の歩道設置については、緊急提言として、平成16年9月に市に提出。市民プラン作成に向けた中間とりまとめ(第1次提言)については、若干遅れ、平成17年5月に策定予定。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		協議会活動も活発であり、中間とりまとめ(第1次提言)についても、若干の遅れはあるが、概ね計画どおりに作業が進んでいる。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		現在は、まちづくり三鷹からの活動支援、専門家派遣を受けており、市による財政上の負担は少ないが、今後、地区整備基本計画の策定に向けた調査、まちづくり推進団体への認定の際には、市側の支援にかかるコストの増が予想される。
	総合評価及び次年度の実施方針		まちづくりプラン作成のための協議会活動も活発に行われており、概ね順調に進捗している。次年度については、緊急提言を受けて、135号線の歩道設置に向けた検討を進めるとともに、まちづくりプランの策定に向けた支援を引き続き行っていく。
評 価 会	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		
総合評価			市民によるまちづくりプランの策定が重要となるため(株)まちづくり三鷹と一層の連携が必要である。また、緊急提言のあった市道第135号線の歩道設置等については、総事業費の関係から、国庫補助等を最大限活用する必要がある。

事業NO. 611	事業名	三鷹駅南口駅前広場の整備	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------	--------	-------

評価対象 事業名	三鷹駅南口駅前広場の整備			部課名	都市整備部まちづくり建築課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第2部第6・2-(2)-	係名	再開発	内線	2861
計画事業名	三鷹駅前広場第2期整備事業の推進			歳出科目	款	1.再開発費	項	1.再開発費
関連計画	三鷹駅前地区再開発基本計画			再開発会計	事項	3三鷹駅南口駅前広場整備事業費		
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象にと)意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的  
三鷹駅南口駅前広場整備事業は、現在の広場を約2倍の広さに拡張し、交通機能の充実やデッキによる歩行者の安全性の確保、バリアフリーへの対応、玉川上水と一体になった景観整備等を行い、良好な広場環境を創出することを目的としている。また、デッキの拡張により、駅ビルとの接続はもとより駅前広場に面する街区とのアクセスが図れ、利用者の利便性向上と商業振興に寄与する。

概要  
三鷹駅南口駅前広場整備事業は、現在の広場を約2倍の広さに拡張し、交通機能の充実やデッキによる歩行者の安全性の確保、バリアフリーへの対応、玉川上水と一体になった景観整備等を行い、良好な広場環境を創出する。また、デッキの拡張により、駅ビルとの接続はもとより駅前広場に面する街区とのアクセスが図れ、利用者の利便性と商業振興に寄与する。

始期	8	年度から	17	年度まで	当該事務に従事する実職員数	1.0人	または	時間
----	---	------	----	------	---------------	------	-----	----

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点  
すべての用地交渉をまとめ、事業用地を100%確保する。JRとビル接続について協議を進める。工事については、多くの工事が錯綜するため、安全に留意し、スムーズな工程管理を行う。

今年度の事業・業務量の説明  
地権者との交渉及び用地買収約70㎡(用地確保率100%)。JR東日本(株)と「駅ビルとデッキ接続について」協議。Bデッキ、三鷹橋架け替え、既存歩道部分の改修。

今年度のまちづくり指標の説明  
買収予定面積1,230㎡の内、既に94.3%を確保しているため、残り約70㎡を買収し、用地取得率を100%とする。工事に着手し、年度末のBデッキ供用開始、12地区協同ビルへ接続し利便性を向上を図る。三鷹橋を架け替える。既存歩道部分の改修を行い、安全な歩行空間を確保する。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)  
立川駅北口は、広場面積11,300㎡、デッキ4,400㎡、エレベーター1基・エスカレーター4基、で、事業費634億円。

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	用地取得 87.74㎡、JR との交渉3 回、武蔵野市 との協議	用地取得約 1,230㎡ 実 施設計の完成	用地取得約70㎡ B デッキ架設 三鷹橋架け 替え 既存歩道の改修 JRとの協議	用地取得約50㎡ B デッキ架設供用開始 三 鷹橋架け替え 既存歩道 の改修着手 JRとの協議
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	用地取得 率58.0%	用地取得率 100%(公社取 得含む)	用地取得100% Bデッ キ供用開始 三鷹橋架け 替え 既存歩道の改修	用地取得98% Bデッ キ供用開始 三鷹橋架け替 え 既存歩道の改修
予算額(千円)	473,491	1,835,001	1,073,392	1,073,392
決算額(千円)	389,995	1,428,032		933,469
執行率(%)	82.4%	77.8%		87.0%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	用地取得				▶								
	JRと協議												▶
	武蔵野市と協議				▶	駅広工事							▶
結果	用地取得				▶								
	JRと協議												▶
	武蔵野市と協議				▶	駅広工事							▶

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
天候不良により工事が遅れざみだが、Bデッキを予定どおり供用開始した。

事業NO.611	事業名	三鷹駅南口駅前広場の整備	部内管理事業	都市整備部
----------	-----	--------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		駅前広場は路線バスやタクシー一般車両など、交通が集中する箇所です。安全確保が課題である。具体的には、車両の動線と歩行者の動線を明確にし、交通事故を防止、交通誘導員を的確に配置するなどの対策を講じている。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	維持	平成17年度は、Aデッキの架設、東側部分の街路築造、車道部分の打換工事等を行ない、工期内竣工を目指す。
	コスト面	拡大	
	成果面	B	委託の可能性 有 工事監理については委託業務でおこなっている。
総合評価	第2水準		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		既定方針どおり取り組むこと。
	妥当である	意見	
	改善の余地あり 抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価		重点的に取り組む課題とする。既定方針どおり取り組むこと。	

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		天候不良により工事が遅れ、繰越をおこなった。用地買収については、武蔵野市ポケットパークは埋設物があるため、買収を見合わせた。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		工事に若干の遅れがあるものの、Bデッキを予定どおり供用開始した。武蔵野市ポケットパークについては、埋設物の整理を武蔵野市がつけた段階で対応することとした。
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		用地買収には膨大な事業費が必要となるが、補助金の確保に成功した。
評 査 会 評 価	総合評価及び次年度の実施方針		工事は多少遅れてはいるが、平成17年度末供用開始をめざして工事を行なっていく。
	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
評 価	理由		補助金を確保したことにより経済的に事業を進めることができた。
	総合評価		17年度末完成に向けての進行管理を確実にを行う必要がある。

事業NO. 612	事業名	駅前広場西側地区協同ビル建設支援事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------------	--------	-------

評価対象事業名	駅前広場西側地区協同ビル建設支援事業			部課名	都市整備部まちづくり建築課							
基本計画掲載	あり	なし	体系	第2部第6・2-(2)-	係名	再開発	内線	2861				
計画事業名	駅前広場西側地区協同ビル建設支援事業			再開発会計	事項	1.再開発費	1.再開発費	目	2.再開発事			
関連計画	三鷹駅前地区再開発基本計画			補助区分	国	都	市単独					
事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入												
目的	西側地区に協同ビルを建設することにより、土地の高度利用による住宅、商業・業務施設の活性化及び防災性の向上などが図られ市民生活の向上が期待できるため、三鷹駅前にふさわしい協同ビルとなるように誘導・支援する。また、バリアフリーのまちづくり推進の観点から、現在の駅前広場に設置してあるデッキを協同ビルに延長し、エスカレーター等の設置を検討する。これらの整備により、市の表玄関にふさわしい安全で快適な都市空間の創出と防災空間の確保等を図る。											
概要	平成18年度の協同ビル完成を目指し、関係地権者(市を含む。)により構成される「三鷹駅南口西側地区優良建築物建設組合」が実施設計を行う。また、駅前広場デッキを協同ビルに延長するための検討を行う。											
始期	12	年度から	終期	18	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5人		または	時間		
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点												
本事業計画地内に市の駐輪場施設があり、平成15年2月に三鷹駅南口西側地区優良建築物建設準備組合より、市に協同ビル化参画要請が出されたため、同組合に参画するとともに、この協同ビルの支援を行う。15年度に実施設計を行う予定だったが、基本設計に止まっている。早期に着手し、事業が進捗するよう誘導・支援する。												
今年度の事業・業務量の説明 既存建築物の除却工事費、物件補償費に対する補助、等価交換(権利変換)契約の締結												
今年度のまちづくり指標の説明 権利変換手続きの進捗、更地化などを終え、協同ビルの建設工事を推進する。												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)												
年度別明細												
	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成								
事業・業務量	協同化についての勉強会4階及び事業計画案の検討・作成。建設準備組合の設立。	デベロッパー選定。基本協定の締結。基本設計	除却工事・物件補償等に対する補助 等価交換契約締結	除却工事・物件補償等に対する補助								
まちづくり指標 行政指標 協働指標	支援の検討	市参画と支援の実施	権利変換手続きの完了、建設工事の進捗を図るための支援	実施設計完了 除却工事着手								
予算額(千円)	0	46,800	88,400	88,400								
決算額(千円)	0	13,000		6,800								
執行率(%)		27.8%		7.7%								
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					実施設計(建設組合が実施)							
								等価交換契約 除却工事(建設組合が実施)				
										建設工事(建設組合が実施)		
結果					実施設計(建設組合が実施)							
											除却工事(建設組合が実施)	
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等 テナント等の立退き交渉が難航したため全体に遅れが生じている。												

事業NO.612	事業名	駅前広場西側地区協同ビル建設支援事業	部内管理事業	都市整備部
----------	-----	--------------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向			
当該協同ビル計画に対して、既存デッキを延長し、地下に設置される予定の公共自転車駐車場の利便性を向上させるとともに、市民からの要望が多いエスカレーターと公衆便所の設置を図ります。このデッキ延長に対する財源確保のために、補助金を獲得することが課題です。			
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	維持	平成17年度は建設工事の推進を図る。
	コスト面	拡大	
	成果面	B	委託の可能性 無(理由)建設工事に対する支援事業なので委託する業務はない。
総合評価	第2水準		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			評価を踏まえ予算化に努める。

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		地区内テナントの立退き交渉が長期化し、除却工事の着手が遅れた。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		等価交換契約は締結していない。除却工事に着手した。建設工事は業者確定したが現場は未着手である。早期に着手できるように組合に働きかける。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		16年度予算は大部分繰越を行った。支援の内容については、十分精査している。
評 価 会 評 価	総合評価及び次年度の実施方針		
	等価交換契約を早期に締結できるように建設組合に働きかける。今後も内容を精査し適正な支援を行っていく。		
	進捗状況評価	3	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		工事の遅れにより、十分な効果を得ることはできなかった。
評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		竣工の遅れが他の事業に影響を与えるので、早期竣工に向け適切な支援を行っていく必要がある。

事業NO. 613	事業名	駅前広場東側中央地区協同ビル建設支援事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	----------------------	--------	-------

評価対象事業名	駅前広場東側中央地区協同ビル建設支援事業			部課名	都市整備部まちづくり建築課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第2部第6・2-(2)-	係名	再開発	内線	2861
計画事業名	東側中央地区協同ビル建設支援事業			再開発会計	事項	1.再開発費	1.再開発費	2.再開発費
関連計画	三鷹駅前地区再開発基本計画			補助区分	国	都	市単独	

**事業の目的・概要** 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

**目的**  
本協同ビルを建設することにより、土地の高度利用による住宅、商業・業務施設の活性化及び防災性の向上などが図られ市民生活の向上が期待できるため、三鷹駅前にふさわしい協同ビルとなるように、当該地区を優良建築物等整備事業に採択し、誘導・支援する。この整備により、市の表玄関にふさわしい安全で快適な都市空間の創出と防災空間の確保等を図る。

**概要**  
平成17年度の協同ビル完成を目指し、実施設計、工事費の支援を行う。

始期 12 年度から 終期 18 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人 または 時間

**15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点**  
本地区は、駅前広場に面する好立地であり、デッキとも直接接続する予定で進捗していることから、駅前広場ふさわしいビルとなるように、支援誘導していく必要がある。

**今年度の事業・業務量の説明**  
基本設計、実施設計の完了 実施設計、工事に対する補助。

**今年度のまちづくり指標の説明**  
地権者が行う実施設計、建設工事等に対して支援する。

**他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）**

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	協同化についての勉強会。	コンサルタント選定。	基本設計、実施設計の完了 実施設計、工事に対する補助	基本設計、実施設計の完了 実施設計、工事に対する補助
まちづくり指標 行政指標 協働指標	支援の検討	コンサルタント選定。	建設工事を推進するための支援	建設工事を推進するための支援
予算額(千円)			31,270	31,270
決算額(千円)				27,400
執行率(%)				87.6%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				基本設計・実施設計(地権者が実施)								建設工事(地権者が実施)	
結果				基本設計・実施設計(地権者が実施)								建設工事(地権者が実施)	

**事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等**  
当初計画どおり進行している。

事業NO. 613	事業名	駅前広場東側中央地区協同ビル建設支援事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	----------------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		駅前広場周辺での建設工事であるため、多くの工事が錯綜するので、駅前広場工事と十分調整を行うよう指導する必要がある。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 平成17年度は共用部分建設工事に対する支援を行う。
	項目	維持	総括説明
	コスト面	拡大	
	成果面	B	委託の可能性
総合評価	第2水準	無(理由)協同ビル建設事業に対する支援事業のため、委託できる業務はない。	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		当初計画どおり進捗している。
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		当初計画どおり設計・工事等に対する支援を行った。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		設計内容等の精査により、当初想定した額より補助金額が減少した。
事 後 評 価 審 査 会 評 価	総合評価及び次年度の実施方針		
	順調に進捗しており、建築工事に着手している。国費及び都費の補助金確保に努める。駅前広場工事と錯綜するため、安全に留意し事業を促進する。		
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
会 評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		
総合評価	今後も順調に進捗するよう支援していくことが望まれる。		

事業NO. 614	事業名	三鷹駅南口周辺交通対策調査業務	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

評価対象事業名	三鷹駅南口周辺交通対策調査業務			部課名	都市整備部道路交通課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第5・3-(5)-	係名	都市交通係	内線	2883
計画事業名	自転車交通環境の整備			歳出科目	款	2.総務費	項	1.総務管理費
関連計画				会計	事項	3.交通安全推進事業費		
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 三鷹駅南口周辺は違法駐車や荷捌き駐車等の自動車交通問題、放置自転車等や駐輪場の確保等の自転車交通問題が課題となっている。については、放置自転車、違法駐車及び荷捌き用車等に対する緊急対策及びレンタサイクル等の新システム導入に向けて調査を行うとともに、総合的な交通対策計画策定のための基礎的資料を作成する。これらの対策により、安心して安全なまちづくりを目指す。

概要 自転車及び自動車問題の実態を把握し、平成15年7月に国の指定を受けた「あんしん歩行エリア」事業や、総合的な交通対策計画を策定するための基礎資料を作成する。

始期	16	年度から	終期	16	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5人	または	時間
----	----	------	----	----	------	---------------	------	-----	----

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量の説明  
三鷹駅南口周辺の実態調査(総合コンサルタントに業務委託)・報告書の作成

今年度のまちづくり指標の説明  
当該実態調査及び各行政計画を参考にして、恒久的な駐車場及び駐輪場の設置台数、レンタサイクルの導入など総合的な交通対策計画を策定するための基礎資料を作成する。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量			三鷹駅南口周辺の実態調査・報告書の作成	三鷹駅南口総合交通調査・報告書の作成
まちづくり指標 行政指標 協働指標			総合的な交通対策計画を策定するための基礎資料を作成	総合的な交通対策計画を策定するための基礎資料を作成
予算額(千円)			7,000	7,000
決算額(千円)				6,615
執行率(%)				94.5%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			業者選定	→			調査及び調査結果の集計			中間報告	○	報告書作成	→
結果			業者選定	→		入札	○	調査及び調査結果の集計		○	○	報告書作成	→

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
当初計画どおりに進行し、報告書としてまとめた。

事業NO.614	事業名	三鷹駅南口周辺交通対策調査業務	部内管理事業	都市整備部
----------	-----	-----------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		三鷹駅周辺の総合交通調査を行い、駅周辺の将来交通予測を行うとともに、最良の交通機関や歩行者空間などを提案していく。また今後行っていく三鷹市全域での交通調査の一部としていくものである。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて])
	項目	総 括 説 明	本調査の目的を遂行しうる業者の選別に十分時間をかけ、現在調査業務に当たっている。
	コスト面		
	成果面		
総合評価	委託の可能性   有・無(理由)		
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意 見	
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		当初計画どおり年度内に調査業務を終了し、報告書としてまとめた。
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		三鷹駅南口周辺交通量調査結果に基づく課題の抽出、改善方策の検討等、今後の交通計画へ繋げる内容を網羅している。
事 後 評 価	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		調査委託業務ではあるが、予定通りの進行ができた。
	総合評価及び次年度の実施方針		三鷹駅全体の交通に対する総合調査として、所期の目的を十分満たしており、今後策定する交通計画の基礎資料として活用していく。
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
審 査 会 評 価	理由		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
評 価	理由		
	総合評価		駅前再開発の進展を反映させた交通対策計画策定や国の指定を受けた「安心歩行エリア」事業(国庫補助事業)などに最大限活用することが望まれる。

事業NO. 615	事業名	地図情報システム事業 (緊急地域雇用創出特別補助事業)	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------------------------	--------	-------

評価対象事業名	地図情報システム事業(緊急地域雇用創出特別補助事業)				部課名	都市整備部道路交通課							
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第1	・6	-(5)-	歳出科目	款	8土木費	項	1土木管理費	目	1土木総務費
計画事業名					会計	事項				8地図情報関係費			
関連計画					補助区分	国	都	市単独					

**事業の目的・概要** 目的は対象(何を、誰を対象にと)意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

**目的** 緊急地域雇用創出特別補助事業の一環として、三鷹市が所有する交通安全施設の地図情報化を行うために、現地確認調査業務及びマッピング業務を実施することで雇用確保を図る。  
年間延べ243人の新規雇用を確保する。

**概要** 1 三鷹市内全域に設置されている交通安全施設(20,000件)の現地確認調査を行い、正確な位置情報を把握する。  
2 管理台帳を現地確認調査結果を基に修正し適正管理を行う。  
3 上記1・2をマッピングし地図情報化を行い、交通安全施設の適正管理及び安全点検業務の効率化を図る。

16 年度から | 終期 | 16 年度まで | 当該事務に従事する実職員数 | 0.3 人 または | 時間

**15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点**

緊急地域雇用創出特別補助事業については、道路清掃業務及び雨水ます清掃業務を委託により行い延べ1,977人の雇用確保を図った。  
本年度においても、現地調査業務及びマッピング事業を行い雇用確保を図る。

**今年度の事業・業務量の説明**

市内全域16.50K㎡の現地調査を委託業務により行う。  
管理台帳(20,000件)の修正作業。  
地図情報化(マッピング)を行い、交通安全施設の適正管理を図る。

**今年度のまちづくり指標の説明**

道路反射鏡2,400件、赤色回転灯30件、プリンカーライト50件、大型標識50件、街路灯等17,470件 計20,000件の地図情報化を行う。

**他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)**

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量		管理台帳(約15000件)のデータベース作成	市内全域16.50K㎡の現地確認調査及び管理台帳(20,000件)修正並びにマッピング作業	市内全域16.50K㎡の現地確認調査及び管理台帳(20,000件)修正並びにマッピング作業
まちづくり指標 行政指標 協働指標			道路反射鏡2,400件赤色回転灯30件プリンカーライト50件大型標識50件街路灯等17,470件の地図情報化を行う	道路反射鏡2,400件赤色回転灯30件プリンカーライト50件大型標識50件街路灯等17,470件の地図情報化を行う
予算額(千円)		1,806	15,766	15,766
決算額(千円)		1,093		14,809
執行率(%)		60.5%		93.9%

**年間の実施スケジュール**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	← 契約準備 →		← 現地確認調査業務 →				← 契約準備 →	← マッピング業務 →				
結果	← 契約準備 →		← 現地確認調査業務 →				← 契約準備 →	← マッピング業務 →				

**事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等**  
マッピング業務の業務仕様書作成について、全庁型GISへの移行等を考慮し情報推進室の意見聴取及び確認作業を行ったため、契約準備期間が当初計画より延びてしまった。

事業NO. 615	事業名	地図情報システム事業 (緊急地域雇用創出特別補助事業)	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------------------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		
現地調査結果を基に位置情報と台帳情報を統合し地図情報化するに当り、導入後の発展性を十分検討した業務仕様書の作成及び情報推進室との綿密な連携を行う必要があること 全庁型システムとしての検討を十分行うことが今後の課題となる		
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 平成16年度に地図情報化の導入を完了する。 平成17年度から地図ソフト更新及びシステム関係メンテナンス業務予算の支出が見込まれるが、交通安全施設以外の施設の地図情報化を可能にし安心安全面の情報収集の向上が可能となる。
	項目	総括説明
	コスト面	増加
	成果面	拡大
	総合評価	第3水準
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見 本システムに係る保守点検項目等を精査し、経常経費の抑制に努めることが必要である。
	改善の余地あり	
	抜本的見直し必要	
改善提案に対する政策会議の意見・評価		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由		マッピング事業の業務仕様書作成段階において全庁型GISへの発展等について、情報推進室の意見聴取及び確認作業に時間を要したが、システム本体は契約納期内の納品が行われた。	
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由		緊急雇用として延べ455人の新規雇用が図れたことは、事業を実施したことによる大きな成果である。これにより、道路反射鏡、赤色回転灯、プリンカーライト、大型標識、街路灯等20,000件について、地図情報化システムが当初計画のとおり導入された。	
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由		緊急地域雇用創出特別補助事業の範囲内で今後も利用価値のあるシステム導入が図られたことは効率性・経済性ともに大きな成果である。	
	総合評価及び次年度の実施方針			
	道路交通安全施設20,000箇所について、位置情報及び台帳情報を地図情報化し維持管理並びに検索業務の時間短縮が当初計画と通りに図れた。今後、システムの維持管理(メンテナンス)に向け経費等を含めた改善を行う必要がある。			
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由			
成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし		
理由				
効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由				
総合評価	導入自体は補助事業だったが維持は市費で対応せざるを得ないので経費の抑制に努めるとともに、全庁型のシステムを視野にいれた検討も必要である。			

事業NO. 616	事業名	コミュニティバスの今後のあり方の検討	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------------	--------	-------

評価対象 事業名	コミュニティバスの今後のあり方の検討				部課名	都市整備部道路交通課																																				
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第5・2-(1)-	係名	都市交通係	内線	2883																																		
計画事業名	バス路線の整備・充実				歳出科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	19 交通安全対策費																															
関連計画					会計	事項	12. コミュニティバス関係費																																			
					補助区分	国	都	市単独																																		
目的	<b>事業の目的・概要</b> 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入 交通不便地域の解消を目的として導入したコミュニティバスのあり方の抜本的見直しに取り組む。																																									
概要	利便性の一層の向上等を図るため、各ルートの現状や課題を検証し、乗り継ぎ運賃制度の拡充など、今後の三鷹におけるコミュニティバスの現状や課題を庁内で検討する。																																									
始期	16	年度から	終期	16	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5 人 または					時間																														
<b>15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点</b> 既存バス路線とのネットワーク化等を含め、コミュニティバスの運行について見直しを行う。																																										
<b>今年度の事業・業務量の説明</b> コミュニティバス導入後、5年間の実績を踏まえた、バス事業者との協議及び庁内での検討																																										
<b>今年度のまちづくり指標の説明</b> 今後のコミュニティバスのあり方の抜本的見直しを検討するため、庁内で調査・検討し、報告書を取りまとめる。																																										
<b>他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）</b>																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th> <th>H14年度</th> <th>H15年度</th> <th>H16年度目標</th> <th>H16年度達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td> <td></td> <td></td> <td>バス事業者との協議及び庁内での検討</td> <td>バス事業者との協議及び庁内での検討</td> </tr> <tr> <td>まちづくり指標 行政指標 協働指標</td> <td></td> <td></td> <td>報告書を取りまとめる</td> <td>基礎資料を取りまとめた</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td></td> <td>21,353</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td></td> <td>18,672</td> <td></td> <td>10,788</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td>87.4%</td> <td></td> <td>53.9%</td> </tr> </tbody> </table>													年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成	事業・業務量			バス事業者との協議及び庁内での検討	バス事業者との協議及び庁内での検討	まちづくり指標 行政指標 協働指標			報告書を取りまとめる	基礎資料を取りまとめた	予算額(千円)		21,353	20,000	20,000	決算額(千円)		18,672		10,788	執行率(%)		87.4%		53.9%
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成																																						
事業・業務量			バス事業者との協議及び庁内での検討	バス事業者との協議及び庁内での検討																																						
まちづくり指標 行政指標 協働指標			報告書を取りまとめる	基礎資料を取りまとめた																																						
予算額(千円)		21,353	20,000	20,000																																						
決算額(千円)		18,672		10,788																																						
執行率(%)		87.4%		53.9%																																						
<b>年間の実施スケジュール</b>																																										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
当初計画							調査・検討					▶																														
結果							調査・検討					▶																														
<b>事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等</b> 当初計画どおりに進行することができた。																																										

事業NO. 616	事業名	コミュニティバスの今後のあり方の検討	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		平成14年度に西部ルートの変更及び乗り継ぎ運賃制度を進めながら利用者の増を図る対策を講じた。しかしながら、一部のルートについては年度内の増は見られなかった。今後、更にバス事業者及び市内においてコミュニティバスのあり方について検討し抜本的な見直しについて検討をかさね、利用者の利便性の向上及び利用者の増を図る。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて]) 新たなコミュニティバスのあり方を早急に検討し、赤字幅の大きい西部ルートを中心に乗継運賃システムの活用による新ルートの策定を行う。
	項目	総括説明	
	コスト面	減少	
	成果面	維持	
	総合評価	D 第2水準	委託の可能性 有・無 理由)
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	具体的な検討内容、例えば、路線バスとの重複路線の見直しによる運行間隔の短縮などを早期に明らかにして、まちづくり指標を設定することが望ましい。 また、ルート及び運賃等の見直しにあたっては、収支見通しを明らかにしながら検討していく必要がある。
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			重点的に取り組む課題とする。

### 《事業の事後評価》

主 管 課 評 価	進捗状況評価		1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	コミュニティバスの見直しに向け、運行ルート・運転本数についての重点的な検討を行い、一定の方向性を見出すことができた。			
	成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由	運行見直しのポイントとなる運行ルート、運行本数、利用料金、乗継運賃制度の拡充などについて、多面的な検討を行ったことにより、具体化に向けた材料を得ることができた。			
	効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	本年度の作業は、コミュニティバスの利便性の向上であり、その実現に向けた調査・検討であるため、効率性・経済性における評価は行っていない。			
	総合評価及び次年度の実施方針		コミュニティバスの抜本的見直しに対する調査・検討期間として、平成16年度に様々な角度で検討を行うことができた。この成果を平成17年度の具体的な運行実現に向けた調査委託業務に対する基礎的資料として活用していく。		
	評 価 会 評 価	進捗状況評価		2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
		理由	報告書を作成することができなかった。		
		成果に対する評価		2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
理由		検討結果を報告書としてまとめるまでには至らなかった。			
	効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	検討の内容を踏まえ、平成17年度の抜本的見直しにあたっては採算性も念頭に検討を進めていく必要がある。			
	総合評価				

事業NO. 617	事業名	「合流式下水道改善計画」の実施	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------	--------	-------

評価対象事業名	「合流式下水道改善計画」の実施			部課名	都市整備部下水道課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・2-(1)-	係名	下水道課管渠維持係	内線	2875		
計画事業名	合流式下水道の改善計画の策定			歳出科目	款	1. 下水道事業費	項	3. 建設費	目	1. 管渠布設工事費
関連計画				会計	事項	4. 合流式下水道改善事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 地域特性に合わせた効率的な下水道施設の改善を行い、雨水流出抑制型下水道への転換等を推進するために合流式下水道改善計画を策定する。また、この計画に基づき、汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減、を目標とした整備をするための実施設計を行う。

概要 アドバイザー会議(環境保全審議会)で改善計画(案)の意見を伺い、計画を確定し、議会報告を経て改善計画を国に提出し、同意を得て平成17年度より事業を実施する。事業実施のための実施設計は平成16年度に行う。

始期 14 年度から 終期 21 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人 または 0.0 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量の説明  
 アドバイザー会議(環境保全審議会)を2回開催する。  
 改善計画を国と協議し、同意を得る。

今年度のまちづくり指標の説明  
 改善計画を決定する。  
 17年度事業実施にむけての実施設計委託を行う。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)  
 東京都下水道局流域下水道本部が流域下水道と三鷹市公共下水道との接続点に、きょう雑物の流出を防止するための、ろ過スクリーンを設置した。

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	実態を把握するためのモニタリング調査の実施	改善計画の策定 流出シミュレーションの解析	アドバイザー会議(環境保全審議会)を2回開催する。 改善計画を国と協議し、同意を得る。	アドバイザー会議(環境保全審議会)を2回開催する。 改善計画を国と協議し、同意を得る。
まちづくり指標 行政指標 協働指標	雨天時における公共用水域への影響の把握	改善計画(案)の策定	改善計画を決定する。 17年度事業実施にむけての実施設計委託を行う。	改善計画を決定する。 17年度事業実施にむけての実施設計委託を行う。
予算額(千円)	20,000	23,100	19,950	19,950
決算額(千円)	17,850	20,475		14,910
執行率(%)	89.3%	88.6%		74.7%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画					改善計画決定				実施設計				
結果							改善計画決定			実施設計			

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等  
 アドバイザー会議終了後の東京都との調整に時間を要した。

事業NO.617	事業名	「合流式下水道改善計画」の実施	部内管理事業	都市整備部
----------	-----	-----------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		当初計画より若干の遅延はあるものの、年度内に目標は達成する。 また、平成17年度以降は、計画の改善目標を達成するためのハードルがかなり高い。(事業費等)	
中 間 評 価	主管課中間評価	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 本年度に策定した計画に基づき実施設計を行い平成17年度に事業を実施する。	
	項目	維持	総括説明
	コスト面	拡大	
	成果面	B	
総合評価	第2水準	委託の可能性 有(理由)下水道法の認可変更に伴う委託及び実施設計委託のため。	
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価			
重点的に取り組む課題とする。			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由	平成17年度事業実施をおこなうためのアドバイザー会議・国の同意を得、実施設計ができた。	
	進捗状況評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由	改善計画を決定できたことにより、事業実施を達成することができる。	
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由	改善計画においてきょう雑物を除去するスクリーンに動力のいらぬ機種を位置づけたことにより総事業費を抑制した。	
	実施設計においても、地域特性に見合った「合流改善技術」を取り入れて設計し、次年度の事業実施に向けていく。		
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
理由			
効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価	計画に基づく事業の実施であっても、常にコスト削減に向けて検討を重ねることが望ましい。		

事業NO. 618	事業名	東部下水処理場の流域下水道等への編入の協議	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-----------------------	--------	-------

評価対象事業名	東部下水処理場の流域下水道等への編入の協議			部課名	都市整備部 下水道課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・4-(2)-	係名	管渠維持係	内線	2875
計画事業名	東部下水処理場の流域下水道への編入の協議			歳出科目	款	項	目	
関連計画				会計	事項			
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的 単独処理区にある東部下水処理場を東京都流域下水道に編入することで、都と市が一体となった広域的な下水処理が可能となるため、維持管理費の縮減及び水質保全の向上を図る。

概要 現有施設の更新時期を勘案し、費用対効果や水質の向上の観点を踏まえ「多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画」との整合性を図りながら、東京都流域下水道への編入にむけて都と協議していく。

始期 14 年度から 終期 27 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人 または 0.0 時間

15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量の説明

「三鷹市単独処理区の流域下水道編入に関する検討会」において検討会を2回、専門部会を2回開催

今年度のまちづくり指標の説明

三鷹市単独処理区を流域下水道に編入する計画の策定

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）

三鷹市と同様に単独処理区をもつ八王子市・立川市も「検討会」を設置し、編入に関する検討を行っている。

年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成
事業・業務量	「三鷹市単独処理区の流域下水道編入に関する検討会」の設置	「三鷹市単独処理区の流域下水道編入に関する検討会」での検討	検討会を2回、専門部会を2回開催	東京都と協議を継続。
まちづくり指標 行政指標 協働指標	「三鷹市単独処理区の流域下水道編入に関する検討会」の設置	「三鷹市単独処理区の流域下水道編入に関する検討会」での検討	三鷹市単独処理区を流域下水道に編入する計画の策定	東京都と協議を継続。
予算額(千円)	0	3,150	0	0
決算額(千円)	0	2,835		0
執行率(%)	0.0%	90.0%		0.0%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		「検討会」での検討		とりまとめ			東京都との協議					計画策定
結果							東京都との協議					

事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等

検討会・専門部会を開催するまでの協議が整わなかった。

事業NO.618	事業名	東部下水処理場の流域下水道等への編入の協議	部内管理事業	都市整備部
----------	-----	-----------------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		15・16年度で実施した「検討会」の検討結果に基づき、東京都と協議を継続。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) 東京都と協議を継続。
	項目	維持	総 括 説 明
	コスト面	維持	
	成果面	維持	
総合評価	第3水準	委託の可能性	無(理由)協議が整うまでの間。
評 価	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価		
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要	意見	
	改善提案に対する政策会議の意見・評価		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価		2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	東京都と協議を継続中			
	成果に対する評価		3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由	東京都と協議を継続中			
	効率性・経済性に対する評価		3	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	東京都と協議を継続中			
	総合評価及び次年度の実施方針		検討会終了をもって、東京都への要請をする予定であるが現在協議継続中である。		
	進捗状況評価		2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由				
	成果に対する評価		3	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
理由					
効率性・経済性に対する評価		3	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由					
総合評価	早期に計画を策定できるよう東京都と協議を進める必要がある。				

事業NO. 619	事業名	丸池の里整備事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	----------	--------	-------

評価対象 事業名	丸池の里整備事業				部課名	都市整備部緑と公園課																																			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第2・2-(1)-	係名	公園係		内線	2835																																
計画事業名	ふれあいの里・市民の広場の整備				歳出科目	款	8土木費	項	4都市計画費	目	4緑化公園費																														
関連計画	三鷹市立都市公園条例				会計	事項	19 都市公園整備事業費																																		
事業の目的・概要	<p>目的 丸池の里及び周辺地域に、市民が誇れるふるさと空間としての公園整備を行い、緑と水の公園都市の実現を図る。</p> <p>概要 回遊ルートの拠点として位置づけのある丸池公園の拡張を図り、用地買収及び施設整備を行う。整備にあたっては、ワークショップ方式による市民のニーズにあった公園づくりを推進する。</p>																																								
始期	13	年度から	終期	17	年度まで	当該事務に従事する実職員数	1.0 人 または				時間																														
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点 補助金の有効活用を図り用地買収を実施する。																																									
今年度の事業・業務量の説明 対象者2件の用地買収を行う。(住宅地2件)																																									
今年度のまちづくり指標の説明 住宅市街地総合整備事業に位置づけられた整備面積9,856.5㎡の内、平成16年度末の累計用地取得面積9,343.18㎡(取得率94.8%)を指標とする。																																									
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度別明細</th> <th>H14年度</th> <th>H15年度</th> <th>H16年度目標</th> <th>H16年度達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業・業務量</td> <td>用地取得 456.73㎡</td> <td>用地取得 545.76㎡</td> <td>用地取得586.05㎡ 公社分1,026.64㎡</td> <td>用地取得637.50㎡ 公社分1,026.64㎡</td> </tr> <tr> <td>まちづくり指標</td> <td>用地取得面積の累計 811.37㎡ (取得率83.3%)</td> <td>用地取得面積の累計 8,757.13㎡ (取得率88.8%)</td> <td>用地取得面積の累計 9,343.18㎡ (取得率94.8%)</td> <td>用地取得面積の累計 9,394.63㎡ (取得率95.3%)</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>169,103</td> <td>125,733</td> <td>176,615</td> <td>176,615</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>114,187</td> <td>104,484</td> <td></td> <td>139,912</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>67.5%</td> <td>83.1%</td> <td></td> <td>79.2%</td> </tr> </tbody> </table>												年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成	事業・業務量	用地取得 456.73㎡	用地取得 545.76㎡	用地取得586.05㎡ 公社分1,026.64㎡	用地取得637.50㎡ 公社分1,026.64㎡	まちづくり指標	用地取得面積の累計 811.37㎡ (取得率83.3%)	用地取得面積の累計 8,757.13㎡ (取得率88.8%)	用地取得面積の累計 9,343.18㎡ (取得率94.8%)	用地取得面積の累計 9,394.63㎡ (取得率95.3%)	予算額(千円)	169,103	125,733	176,615	176,615	決算額(千円)	114,187	104,484		139,912	執行率(%)	67.5%	83.1%		79.2%
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標	H16年度達成																																					
事業・業務量	用地取得 456.73㎡	用地取得 545.76㎡	用地取得586.05㎡ 公社分1,026.64㎡	用地取得637.50㎡ 公社分1,026.64㎡																																					
まちづくり指標	用地取得面積の累計 811.37㎡ (取得率83.3%)	用地取得面積の累計 8,757.13㎡ (取得率88.8%)	用地取得面積の累計 9,343.18㎡ (取得率94.8%)	用地取得面積の累計 9,394.63㎡ (取得率95.3%)																																					
予算額(千円)	169,103	125,733	176,615	176,615																																					
決算額(千円)	114,187	104,484		139,912																																					
執行率(%)	67.5%	83.1%		79.2%																																					
年間の実施スケジュール																																									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
当初計画		用地調整会議	地権者との協議 → 実施設計開始		用地鑑定 → 価格合意	価格審査会 → 国庫補助交付申請	国庫補助交付決定	土地売買契約 → 支払い	ワークショップ	設計完了																															
変更計画		用地調整会議	地権者との協議 → 実施設計開始		価格審査会 → 土地売買契約 公社				ワークショップ	設計完了	国庫補助交付申請 → 国庫補助交付決定 → 公社買戻し → 土地引渡し	都完了検査																													
<b>事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等</b> 17年度整備工事予定地すべての買収を完了し、また、ワークショップによる実施設計も完了した。未買収1件は、代替地要望のため、地権者の希望にあう物件が無く買収できなかった。																																									

事業NO. 619	事業名	丸池の里整備事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	----------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		用地買収2件のうち1件を完了したが、残り1件が難航している。	
中 間 評 価	主管課中間評価		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて])
	項目	総 括 説 明	H17は 期工事の整備計画最終年度でワークショップの提言に基づいた整備をおこなう。
	コスト面		
	成果面		
総合評価	委託の可能性 (有)無(理由) ワークショップについては、まちづくり三鷹に委託している。		
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価			
評 価	妥当である	意 見	
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
改善提案に対する政策会議の意見・評価			
重点的に取り組む課題とする。 丸池の里に限定せず、緑と水の回遊ルート整備計画に基づく拠点整備及びルート整備について、検討する必要がある。			

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		用地買収2件のうち1件が未買収である。
	成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		未買収1件は残すが、17年度整備予定地すべての買収を完了した。また、ワークショップによる実施設計が完了した。
	効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		実施設計において、既存の樹木を公園計画に取り込むよう努め、整備時のコスト削減を図った。
	総合評価及び次年度の実施方針		
	理由		6回の基本設計及び3回の実施設計ワークショップを開催し、直接市民の意見が反映された公園整備の実現が可能となった。
	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
理由			
効率性・経済性に対する評価	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
総合評価			ワークショップでの意見をいかしつつ、既存樹木の活用などコスト削減を図っており評価できる。残る1件の用地取得については、引き続き交渉を進める必要がある。

事業NO. 620	事業名	遊び場広場暫定開放事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-------------	--------	-------

評価対象 事業名	遊び場広場暫定開放事業				部課名	都市整備部緑と公園課						
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第2・4-(1)-	係名	緑と水係	内線	2833				
計画事業名	公園緑地の改修・拡充整備の実施				歳出科目	款	8.土木費	項	4.都市計画費	目	4.緑化公園費	
関連計画					会計	事項	24.遊び場広場暫定開放事業費					
事業の目的・概要	目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入											
目的	市民に対して、一定のルールの基に自由な発想で創造性ある遊びができる場を提供する。さまざまな遊びや体験を通して、子ども達の自主性や創造性、社会性の育成に寄与する。											
概要	都市整備用地として取得した土地を暫定的に活用して、遊具は置かずに一定のルールの基に自由に利用できる広場を中心とした公園を整備する。公園利用のルールづくりについては、近隣住民や一般公募市民等によって構成される検討会を設置し、市民参加により行う。											
始期	平成16	年度から	終期	平成16	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.8人		または	時間		
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点												
今年度の事業・業務量の説明												
事業の進捗を示す指標であり、約6,000㎡を遊び場広場として整備する。												
今年度のまちづくり指標の説明												
供用開始により市民の開放の状況を示す指標であり、約6,000㎡を整備開放する。												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）												
遊び場広場と同じ趣旨の公園として、世田谷区で4箇所のプレイパークが整備されている。												
年度別明細	H14年度	H15年度	H16年度目標		H16年度達成							
事業・業務量			整備工事 約6,000㎡		整備工事 約6,000㎡							
まちづくり指標 行政指標 協働指標			開園面積 約6,000㎡		開園面積 約6,000㎡							
予算額(千円)			17,104		17,104							
決算額(千円)					13,682							
執行率(%)					80.0%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画		近隣説明会	←→	ルールづくりの検討会	←→	工事	開園					
結果		近隣説明会	←→	ルールづくりの検討会	←→	工事	開園					
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等												
近隣住民や町会、広場利用予定団体の代表等により、広場の利用のルールづくりを実施し、当初予定どおり8月に開園を行った。												

事業NO. 620	事業名	遊び場広場暫定開放事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	-------------	--------	-------

### 〈事業の中間評価〉

<b>中間評価時の課題と次年度の改善方向</b>		遊び場広場の利用や運営、開園後における利用上の課題等についての検討を市民参加で行うため、運営委員会(仮称)を設置する。	
中 間 評 価	<b>主管課中間評価</b>	(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト削減余地などの観点を踏まえて]) 本年8月に開園した遊び場広場について、運営委員会(仮称)を設置し、市民参加を得ながら管理・運営を行う。	
	項目	総括説明	
	コスト面		
	成果面		
	総合評価	委託の可能性 有(理由) 管理・運営については、委託の可能性について検討できる。	
評 価	<b>改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価</b>		
	妥当である	意見	
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
	<b>改善提案に対する政策会議の意見・評価</b>		

### 〈事業の事後評価〉

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	<b>進捗状況評価</b>	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由	当初の予定どおり8月に開園し、子供達が夏休みに利用することができた。		
	<b>成果に対する評価</b>	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
	理由	近隣住民や町会、広場利用予定団体の代表等により、広場の利用のルールづくりを実施し、一定のルールのもとに自由に遊ぶことができる遊び場広場の整備を行った。		
	<b>効率性・経済性に対する評価</b>	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由	農業公園への改修により不要となる樹木や園路灯、水のみ場を移設し利用するなど、施設等の再利用やコストを抑えつつ遊び場広場の整備を実施した。		
	<b>総合評価及び次年度の実施方針</b>	地域の住民や利用者の参加による広場の利用のルールづくりを行いつつ、一定のルールのもとに自由に遊ぶことができる新たな公園である遊び場広場の整備を行った。今後は、運営委員会(仮称)を設置し、開園後の利用状況を踏まえながら、市民参加による管理・運営を行う。		
	<b>進捗状況評価</b>	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
	理由			
	<b>成果に対する評価</b>	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし	
理由				
<b>効率性・経済性に対する評価</b>	1	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
理由				
総合評価	市民との協働により、ルールづくりを図り、さらに今後の管理・運営も検討している点は大変意義あることである。今後も市民活動の支援が重要である。			

事業NO. 621	事業名	緑のボランティア育成事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------	--------	-------

評価対象 事業名	緑のボランティア育成事業			部課名	都市整備部緑と公園課							
基本計画掲載	あり	なし	体系	第3部第2・7-(3)-	係名	緑と水係	内線	2833				
計画事業名	組織体制の整備			歳出科目	款	8.土木費	項	4.都市計画費	目	4.緑化公園費		
関連計画				会計	事項	2.緑化対策推進費						
				補助区分	国	都	市単独					
事業の目的・概要	<p><b>目的</b> 市民に対して、緑の保全や花木の育成などの緑のボランティア活動を行うにあたり必要となる専門知識や技術を習得する機会を提供する。また、ボランティアへの参加の契機となり、市民活動の充実が図られ、もって良好な環境の保全、創出に寄与する。</p> <p><b>概要</b> 緑のボランティアを養成するための講座を開催する。</p>											
始期	平成16	年度から	終期	平成22	年度まで	当該事務に従事する実職員数	0.5人		または	時間		
15年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点												
今年度の事業・業務量の説明 緑に関する基礎的な事柄や土づくりや樹木・草花の育て方、樹木の剪定・管理の講習や体験学習など、講座を6回開催する。												
今年度のまちづくり指標の説明 講座への参加者数は、ボランティア活動への関心度を示す指標であり、講座1回の参加人数20人を目標とする。												
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値（コスト比較を含む）												
年度別明細												
	H14年度	H15年度	H16年度目標		H16年度達成							
事業・業務量			講座の開催 6回		講座の開催 6回							
まちづくり指標 行政指標 協働指標			講座への参加者数 延べ120人		講座への参加者数 延べ131人							
予算額(千円)			144		144							
決算額(千円)					144							
執行率(%)					100.0%							
年間の実施スケジュール												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				←			講座の開催(6回)					→
結果							講座(第1回) 講座(第2回)	講座(第3回) 講座(第4回)	講座(第5回) 講座(第6回)			
事業終了後の総括、当初計画変更の内容・理由等 講座の内容の精査及び講師との調整の結果、10月～12月に講座を6回実施した。												

事業NO. 621	事業名	緑のボランティア育成事業	部内管理事業	都市整備部
-----------	-----	--------------	--------	-------

### 《事業の中間評価》

<b>中間評価時の課題と次年度の改善方向</b>		講座の実施に先立ちボランティア講座受講者が、公園ボランティア等として実践的に活動するためのしくみづくりが必要である。また、次年度は、ガーデニング講習会を含め、さらなる農業公園の活用やJAとの連携を図りながら事業に取り組んでいく。	
中 間 評 価	<b>主管課中間評価</b>		(次年度事業の方向性及び説明[上半期の成果、成果向上余地、コスト節減余地などの観点を踏まえて]) さらなる農業公園の活用やJAとの連携を図りながら、新たな市民を対象にボランティア養成講座を開催する。なお、初めて実施する今年度の講座の状況を踏まえ、必要により改善を行う。
	項目	総括説明	
	コスト面	増加	
	成果面	維持	
	総合評価	第4水準	委託の可能性 有(理由) 講座の実施について、(株)まちづくり三鷹等へ委託が検討できる。
評 価	<b>改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価</b>		
	妥当である	意見	講座の開催のみに終わらないために、公園ボランティア等の拡充につながる具体的な方策を早期に検討することが望ましい。
	改善の余地あり		
	抜本的見直し必要		
	<b>改善提案に対する政策会議の意見・評価</b>		

### 《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価 審 査 会 評 価	<b>進捗状況評価</b>	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		講座の内容の精査及び講師との調整の結果、講座の実施時期は変更したが、当初予定どおり6回の連続講座として開催した。
	<b>成果に対する評価</b>	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由		26名の受講申し込みがあり、うち21名が講座を修了した。受講生のアンケート調査では、95%が満足であるとの回答を得ることができた。
	<b>効率性・経済性に対する評価</b>	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		公園緑地において樹木の剪定等の実技講座を実施し、市管理の公園緑地の樹木の適正な管理にも寄与することができた。
	<b>総合評価及び次年度の実施方針</b>		
	理由		講座については概ね好評であり、受講生のアンケート調査では95%が講座終了後緑のボランティアの活動を行いたいと回答している。今後は、講座の開催にあたり、さらなる農業公園の活用やJAとの連携を図るとともに、公園ボランティアなどの実践的な活動に繋げるしくみづくりが必要である。
	<b>進捗状況評価</b>	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		
<b>成果に対する評価</b>	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	
理由			
<b>効率性・経済性に対する評価</b>	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			
<b>総合評価</b>			今後は講座の既受講者がボランティア活動に参加できるような受け皿を用意する必要性がある。